

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 令和4年度 岐阜県立関有知高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和4年5月19日（木） 10:00～12:00
- 3 開催場所 関有知高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	丹羽 章	各務原市教育委員会
副会長	平田 昌隆	下有知中学校 校長
委員	多田 幸泰	関青年会議所 理事長
	平田 尚	しもうちふれあいまちづくり協議会 委員
	武田 由美子	特別養護老人ホーム ハートフル 総務主任
	今井 典子	下有知保育園 主任保育士
	北村 隆幸	せき・まちづくりNPOふうめらん 代表理事
	杉戸 美月	関市役所市民協働課 書記
	下平 美和子	関有知高等学校PTA 庶務
学校側	杉江 祐子	校長
	堀 卓也	教頭
	中藪 淳	事務長
	大野 広行	総務部長
	名和 憲一	教務主任
	長尾 真由里	生徒指導主事
	辻 祥平	進路指導主事
	吉野 典子	生活福祉（デザイン）科主任
	平子 直明	特活係長
	横山 玄斗	記録

5 会議の概要

（協議事項）

- ・スクール・ポリシーを踏まえた令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画について
- ・演劇ワークショップについて
- ・関有知マルシェの取組について

6 委員からの意見

意見1：これまでコロナ禍で実施できなかった活動を再開し、生徒が外部とかかわる場を持つことで、必ずコミュニケーションスキルが身に付く。

意見2：学校が主催する催しだけでなく、地域が主催する催しにも積極的に参加できると生

徒の刺激になるのではないか。

質問：いじめ迷惑調査とは何か

学校回答：

⇒生徒に向けて、定期的に行う校内の調査である。「いじめはないか」「いじめが周りで起きていないか」、「周りに相談できる大人はいるか」といった調査を行い、結果を分析して対応することで、未然防止や早期解決に努めている。

意見3：高校が主催してマルシェを実施することは、非常に先進的な取組。試行錯誤しながらの取組となるため教職員には苦勞をかけるが、協力願いたい。

学校経営計画に基づく取組に対しての評価指標（アンケートのとり方）が具体化できると生徒の成長ぐあいが把握しやすいのではないか。また、3年生向けの「大入学」は体験型の内容を盛り込むと生徒の興味関心が湧くのではないか。

意見4：学校経営計画や行事の計画が細かく練られている。直接園児と関わることがコロナ禍で難しくても、高校生と何らかのつながりを持ちたい。我々の職場でも自分で考えて動ける力が必要である。そうした力を身に付けさせることは大切である。

意見5：学校経営計画がわかりやすい。コロナ禍における制限が緩和されていく中で、地域と高校生との交流が増えると嬉しい。

意見6：「活気ある生徒」は「よき地域社会人」の素質である。関有知マルシェは準備が大変だが、商店街が抱える課題解決のためにぜひがんばってほしい。体験型学習は非常に大切である。高校時代から将来目標の設定ができる機会があるのは大変有意義である。

意見7：「ビジネスプラス展」のような企業の方の話聞く機会以外に、個人で夢を追いかけている方の話を聞く機会や学びの場があると、生徒の将来の選択肢が増えるのではないか。また、デジタル機器の使い方がよくわからない地域の高齢者などに使い方を教えるような機会があると、「教える」経験ができるため生徒の成長材料になるのではないか。学校経営計画の評価指標について、アンケートで実施前と実施後の変化がわかるような確認をすることも有効である。

意見8：学校経営計画に関有知高校独自のカラーが出ている。関有知高校は着実に発展している。今後は、生徒の自己肯定感をより高めていくことが重要である。生徒に自信を持たせることで物事に取り組む力も向上する。行政が中心になってマルシェを行うような取組はあるが、学校と地域が連携して地域の活性化を進めていくところに独自性と意義がある。生徒を校外へ積極的に出すことが大事。学校の主人公は生徒であり、教職員は脇役ではなく主人公を活躍させるためのサポーターである。

7 会議のまとめ

- ・学校経営計画に対する評価指標について、協議会の意見を踏まえて見直しを図るとともに、自己肯定感を高められるように取組の内容についても見直しを図りたい。
- ・コミュニケーションの取り方に難しさを感じている生徒の授業参加を支援できる特別支援教育支援員を探している。また、バスケットボール部の技術指導ができる指導者も探している。心当たりがあれば教えてほしい。

◎第1回学校運営協議会では、令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画について説明し、全委員より承認を得られた。